視点

時間と投資

三菱UFJ信託銀行　専務執行役員
三菱UFJトラスト投資工学研究所（MTEC）取締役社長
成　川　順　一 CMA

「君の名は。」、昨年の大ヒット映画である。小生も出張の際に機内で鑑賞させていただいた。ヒットの鍵は何か。優れたエンターテインメント性はもちろんのこと、かなわぬ夢である時空間の移動と古き良き郷愁がうまくミックスされていることもその要因ではないだろうか。さて今回はこの時空つまり「時間」と「投資」という観点から本稿を書いてみたい。

時間のたつのは早いもので私自身、証券市場に身を置いてから30年近くが過ぎようとしている。折しも昨今、平成バブルの回顧本が書店を賑わせている。懐かしさが募り、小生も昔の文献を机の奥から引っ張り出し、久しぶりに読み返してみた。当時、弊社は顧客向けに投資週報という小冊子を発行しており、その中に大先輩が書いた「時間」と「投資」に関する興味深いコラムがあったのでここに紹介したい。日付は1987年の４月となっているので、ブラックマンデーの半年前の記載となる。

題名は「五つのパンと二ひきの魚の奇跡」。新約聖書の一節である。イエスキリストが数人の弟子と五つのパンと２匹の魚だけで、5,000人もの群衆の空腹を瞬時に満たした奇跡話である。合理的解釈は不可能であるが、先輩の解説はこうである。まず最初に数人が五つのパンと２匹の魚で空腹を満たす。そして町を降りて食物を分け与えてもらい、戻っ

©日本証券アナリスト協会　2017